

令和 2（2020）年度 学校自己評価報告書

学校法人 中島学園
熊本歯科技術専門学校

目 次

I	学校の現況	2
II	評価の基本方針	2
III	本年度（令和2年度）の重点目標と達成計画	4
IV	評価項目の達成および取り組み状況	5
	1. 教育理念・目標・人材育成像	5
	2. 学校運営	5
	3. 教育活動・学修成果	6
	4. 学生支援	7
	5. 教育環境	8
	6. 学生募集	9
	7. 財務	10
	8. 法令等の遵守	10
	9. 社会貢献・地域貢献	11
VI	学生アンケート結果（在校生および卒業生）	11

I 学校の現況

1. 学校名

学校法人中島学園 熊本歯科技術専門学校

2. 所在地

〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘3丁目1-6

3. 沿革

明治36年2月7日 (1903年)	鎮西簿記学校創立 (熊本市北千反畑町)
明治42年4月 (1909年)	校名を「鎮西高等簿記学校」に改称
明治42年8月 (1909年)	熊本市2番被分町1番地(現水道町)に校舎を新築移転
昭和24年4月 (1949年)	校名を「鎮西専門簿記学校」に改称、翌年、「鎮西簿記会計学校」に改称
昭和38年4月 (1963年)	校名を「鎮西商科専門学校」に改称
昭和44年4月 (1969年)	学校法人中島学園に組織変更、姉妹校として「熊本歯科技工専門学校」を開校
昭和52年4月 (1977年)	専修学校令により専門学校として発足
昭和53年4月 (1978年)	「熊本歯科技工専門学校」を「熊本歯科技術専門学校」に校名変更、新たに歯科衛生士科を併設
昭和59年4月 (1984年)	「鎮西商科専門学校」を「熊本情報経理専門学校」に校名変更
昭和63年9月 (1988年)	熊本市本荘町代継神社跡地に鉄筋4階建て校舎を新築移転
平成5年2月 (1993年)	学校創立90周年を迎える
平成15年2月 (2003年)	学校創立100周年を迎える
平成25年2月 (2013年)	学校創立110周年を迎える

4. 学科の構成

課程名	学科名	修業年限
医療専門課程	歯科技工士科	2年(男・女)
医療専門課程	歯科衛生士科	3年(男・女)

5. 学生数および教職員数（令和2年5月現在）

【学生数】

学科名	1年	2年	3年	合計
歯科技工士科	16	18		34
歯科衛生士科	39	37	22	98

【教職員数】

校長	学園長	副校長	教員	事務・広報
1名	1名	1名	10名	4名

6. 施設の概要

- 1階・・・玄関ロビー、事務室、学園長室兼応接室、コンピュータ室〔2〕、実習室〔2〕
- 2階・・・校長室兼広報企画室、職員室、応接室、保健室、普通教室〔5〕、
ロッカー室兼更衣室、学生ホール
- 3階・・・職員室、図書室、実習室〔2〕、普通教室、学生ホール、鑄造研磨室、デモ室、
ポーセレン室、歯科理工学検査室、ロッカー兼更衣室〔2〕
- 4階・・・講堂、倉庫、標本室、普通教室

II 評価の基本方針

1. 学校の教育理念、教育目標

本校は、「即戦力となり、周りにプラスの影響を与える人材の育成」のため、時代の流れに即した知識・技術の「実学教育」はもとより、人間性豊かで社会に的確に順応できる「人間教育」にも重点をおいて教育を行っている。

【教育理念】

高い技術力と人間力を兼ね備え、感謝とチャレンジ精神を持って歯と口から地域の人々の健康に貢献する歯科医療従事者を育成する。

【教育目標】

- (1) 必要となる基本的知識と技術を習得し、実践できる能力を養う。
- (2) コミュニケーション能力を向上させ、高い倫理観を持ったチーム医療の一員として協調・協働できる能力を養う。
- (3) 歯科医療現場で起こりうる問題に対して、素早く解決力・創造力を発揮して対応できる能力を養う。
- (4) 生涯にわたり自らに目標を設定し、最新の知識・技術を学ぶ意欲を持ち、全力で取り組む能力を養う。

2. 3つのポリシー

熊本歯科技術専門学校は、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを定め、教育理念・教育目標に掲げる教育を行い、広く社会に貢献することができる人材育成に努めます。

・アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

熊本歯科技術専門学校は、「仕事を通して地域に貢献する真の職業人育成」を建学の精神として、教育理念・教育目標及び卒業認定・称号授与の方針に基づき、歯科技工士科・歯科衛生士科において、常に感謝の気持ちを持ち、積極的なチャレンジ精神、協調性を備え、歯科医療人になりたいという明確な目的意識をもって最後まであきらめず全力で勉学に取り組む意欲のある人材を求めます。

具体的には次のような人（学生）を求めます。

- (1) 人に対する関心や思いやり・感謝の気持ちを持つことができる人
- (2) 自分の考えや思いを表現でき、他者と協調できる人
- (3) 誠実で責任感ある行動がとれる人
- (4) 探求心・チャレンジ精神をもち、自ら学習し続ける意欲のある人
- (5) 熊本歯科技術専門学校で勉学することを強く望み、かつ歯科技工士・歯科衛生士をめざす明確な意志を持っている人

本校ではこのような学生を適正に受け入れるために、調査書・筆記試験・実技試験（歯科技工士科のみ・石膏工作）面接等により総合的に評価し、入学者選抜を実施します。

・カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施方針）

熊本歯科技術専門学校は、教育理念・教育目標の達成に向けて、歯科技工士科・歯科衛生士科の歯科医療専門職の養成に必要とされる教育内容・教育方法を、体系的、計画的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせ、時代の流れに即した授業を実施します。

・ディプロマポリシー（卒業認定・称号付与方針）

熊本歯科技術専門学校は、教育理念・教育目標に基づき定められた歯科技工士科・歯科衛生士科の教育目標の達成に向けて、各科で養成する歯科医療専門職に必要とされる知識・技術や人間性豊かで社会に的確に順応できる「人間力」を身につけ、卒業に必要な単位を修得した学生に対し卒業を認定すると共に、専門士の称号を授与します。

Ⅲ 本年度（令和2年度）の重点目標と達成計画

1. 教育活動

(1) オンライン（リモート）授業等実施に向けての機器・通信環境の整備

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症に関して休業措置が懸念されるため、不測の事態に速やかに必要な体制（事務連絡・授業実施）がとれるよう、校内の通信機器及び通信環境の整備を整える、また学生に対しても可能な限り支援できるよう、その対策を講じる。

(2) 学生による授業アンケートの実施

本年度より、科目毎（シラバスに基づく）の授業内容や授業方法および、学生自身の授業への取り組み、満足度等についてアンケートを実施し、その評価を担当教員（非常勤講師含む）へフィードバックし、授業内容・方法の改善への活用を促す。

(3) 国家試験対策

国家試験対策をシステム化し、早い段階から開始することで、高い合格率を目指す。計画的な対策と個別指導を充実させることで、多角的に合格までをサポートし、国家試験合格 100%を目指す。

(4) 中途退学者の減少

クラス担任を軸に専任教員も含めたサポート体制を充実させる。指導方針を教員間で共有する取り組みを目標とする。またホームルームや個別面談を定期的に行い、学生個々の状況把握を行い、保護者と連携をとりながら退学者0名を目指す。

(5) 入学生の確保

ここでも新型コロナウイルス感染症による活動縮小となるため「広報企画室」を中心に、効果的な活動（ホームページを積極的に活用）に取り組む。その中で歯科技工士・歯科衛生士そして学校の認知度をさらに上げる仕組みを構築する。コロナ禍の影響が考えられるが、入学定員充足率は、最低でも80%確保を目指す。

本年度行う広報活動は以下の通りである。

- ① 学校訪問については、高校への出向が難しい状況下にあるが、今年度は指定校推薦校へのアポイントをとり訪問可能校のみの実施としたい。
- ② オープンキャンパスの実施内容を再検討し、規模縮小等安全対策を講じながら実施する。新しい試みとして「オンラインオープンキャンパス（進学相談会）」を検討。
- ③ 会議等制限がかかる中ではあるが、できる限り歯科関係団体との連携を継続したい。歯科技工士・歯科衛生士双方の認知度向上と出願数の確保に向けて動いていく。
- ④ 「専門実践教育訓練給付制度」指定講座を積極的にPRしていく。

(6) 経営の効率化

昨年度からの目標でもある、経費節減に向けてのペーパーレス意識の強化を図る。学内ネットワーク・メールの利用をさらに促進し、本格的に情報の共有・協働の見える化を実施する。

IV 評価項目の達成および取り組み状況

1. 教育理念・目標・人材育成像

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	教育理念・教育目標・育成人材像は明確に定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色を打ち出し、実践しているか	3
3	教育理念・教育目標などは教職員・学生・保護者・関係業界に対して周知されているか	3
4	各科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(1) 現状と課題

- ① 学校の教育理念・教育目標・育成人材像については、概ね適切に共有されている。
- ② 学生・保護者には学生便覧・学則を配布し入学式に於いて保護者会を開催し説明。周知を図っている。(2020年度コロナ禍のため中止)さらにホームページを通じて、歯科技工士・歯科衛生士の現状や将来像を掲げている。
- ③ 若年従事者は慢性的に不足している。この不足に対して歯科医療の専門教育養成校として、入学生を安定確保できるよう専門分野の特性を明確にし、職業教育の特色をより一層打ち出す必要がある。

(2) 今後の改善方策

- ① 各科の卒業後を含めた人材育成に向けて情報を収集し、卒業後の在職状況、知識・技術ニーズの把握に努める。
- ② 歯科衛生士科においては、実習期間巡回の機会を活かし、医院他関係団体と密接に情報交換を行い、連携を保つことが必要である。
- ③ 3つのポリシーの具体的に実践するとともに、明確化したものをさらに周知するためホームページ等を通じて明示する。

2. 学校運営

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	目的・目標等にあった学校運営方針が策定され、また各種諸規定・規則等の整備がなされているか	3
2	運営組織や意思決定機関は、規則等において明確化されているか。また、有効かつ効率的に機能しているか	4
3	人事・給与等に関する制度は整備されているか	3

4	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
5	教育活動に関する情報公開が適切に行われているか	4
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(1) 現状と課題

- ① 学校運営については、ほぼ適切に運営されている。
- ② 就業規則をはじめとする諸規定は整備され、定期的な見直しも行われている。
- ③ 学校自己評価は公開され、ホームページにて学校紹介・学校活動・学生の動向等の情報もタイムリーに発信している。学校関係者評価を次年度3月に実施予定。

(2) 今後の改善方策

- ① さらなる学校全体の情報公開が急務である。
- ② 学内ネットワークをさらに利用し、作業効率化を進めていく。教職員のスキルアップも引き続き継続して実践することが、学生サービス向上につながることに理解を求めたい。

3. 教育活動・学修成果

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	教育理念・教育目標の沿った教育課程が策定され、カリキュラムが体系的に編成されているか	4
2	1に示すカリキュラムは定期的な見直しがなされているか	4
3	カリキュラムは教職員および学生に周知されているか	4
4	時代に即した先端的な知識・技能等を修得するための研修や教職員の資質向上のための取り組みが行われているか	3
5	授業に対する評価・改善の体制および実施がなされているか	3
6	成績評価・進級・卒業の基準は明確であるか	4
7	国家試験合格率の目標を設定するとともに、取得（合格率）向上に向けての取り組みが図られているか	4
8	退学率の低減が図られているか、また低減に向けての取り組みは教職員間で共有されているか	2
9	就職率の向上が図られているか	4

(1) 現状と課題

- ① コロナ禍において、年度当初から休校を余儀なくされ、分散・時差登校を経て、6月より本格的な授業が開始。感染防止対策をとりながらの学校運営は、過去に経験したことがなかったため、制限の中の授業・運営は万全といえるものからは遠かったものの、できる限りのこ

とはすべて実施している。

- ② 学生の学習力やコミュニケーション力の低下が発信力・表現力にとどまらず聴取力・読解力不足まで顕著化しているため、国家試験対策指導に改善・工夫が必要である。
- ② 先端的な知識・技能等を習得するための研修等については、メーカーのインストラクターに依頼し、教員の指導力養成、学生の技術力向上のための取組みを行っている。
- ③ 関連企業と連携したキャリア教育等について、概ね適切に実施されている。
- ④ 学生による授業アンケートを通年実施することはできたが、フィードバックまでは不完全燃焼で終わる。必要性を今一度考えるとともに、アンケート項目、集約方法を一考する。
- ④ 担任が就職担当として支援を行っているが、教育活動集中時期はきめ細かな対応が難しい場合もある。
- ⑤ 退学防止の取組みについては、教職員間で共有している。しかし退学者が毎年出ていることは課題である。今年度はコロナ禍の影響だけではないと思うが、退学者が昨年度より増加した。再度取組みの徹底を図っていくことが急務である。

令和2年度退学者：歯科技工士科 0.0% (0/34名)、歯科衛生士科 10.2% (10/98名)

(2) 今後の改善方策

- ① 国家試験合格率は、両科とも合格率 100%の目標を掲げているが、2020年度国家試験合格率：歯科技工士科 100% (18/18名)、歯科衛生士科 90.5% (19/21名)であった。歯科衛生士科においては、再度根本的な試験対策を見直す必要が急務である。
- ② 「国家試験」に対しての、学生へのモチベーション向上が、第一ではないかと考える。
- ③ 「退学者は絶対に出さない」を目標に掲げ、指導体制の工夫、初年度教育の対策を講じているが引き続きさらなる工夫が求められる。
- ④ 就職率は常に 100%であるが、在学中に職業理解をより深め、異業種への就職とならないようにする必要がある。また、卒業生の在職状況も把握し、離職率を下げる働きを行いつつ、歯科技工士・歯科衛生士という専門性を活かし、業界の認知度を高めていけるようさらなる工夫・努力を続ける。

4. 学生支援

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	進路（就職）および学生生活に関する相談・カウンセリングに関する体制が整備され、潤滑な運営が定期的に行われているか	3
2	奨学金等の経済的支援制度が整備され、支給から返還までの手続きが確立されているか	4
3	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
4	健康管理についての指導および支援の体制は整っているか	3
5	不慮の事故など、在学中の学生生活に係る災害に対して、保険に加入しているか	4

6	保護者との連携（情報提供等）がなされているか	3
7	卒業生に対しての支援体制があるか	4

(1) 現状と課題

- ① 本校独自の奨学金制度はないが、日本学生支援機構（JASSO）の奨学金を募集から返還まで一連の手続きは確立し、運用できている。また「専門実践教育訓練給付金制度」の指定講座となっている。入学予定者に社会人経験者も多数いることから、制度の利用があるものと思われる。
- ② 感染症（B型肝炎、インフルエンザ等）の予防接種、定期健康診断を実施しており、健康管理に努めている。
- ③ 入学時に学生保険に全員加入している。
- ④ ハローワークより職業紹介業種の認可を受けており、就職支援体制は整っている。
- ⑤ 学年担任制により、学生の相談には親身に取り組んでいる。また、定期的に教務会議を行い学生の状況も含めた情報共有が図られている。
- ⑥ 既卒者求人依頼にも常時対応している。

(2) 今後の改善方策

- ① 相談室の確保が難しい。現在空き教室を活用しているが、いつでも対応可能な環境づくりが求められる。
- ② 入学生のみならず、在校生に対するさらなる経済的支援対策が求められる。（次年度修学支援新制度対象校となるべく確認申請を提出予定）
- ③ コロナ禍によって、ネット環境の整備が急がれる。（歯科衛生士科・歯科技工士科普通教室へのLAN工事を休校時緊急実施し、オンライン授業への対応が可能となった）
- ④ 改善目標であったお弁当販売のサービス提供を次年度より実施予定。

5. 教育環境

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	教室・実習室等は、室数・広さともに教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
2	学生が実習等を行う上で、教室を含めた諸施設を提供（開放）しているか	3
3	休憩室等のスペースが置かれているか	3
4	防災に対する設備・非常時の体制は整備されているか	3

(1) 現状と課題

- ① 次年度学生数増に伴い、学生用PCを増設（50台）し、1人1台を確保した。授業時以外において、自由に使える環境とするためのルール作りが急務である。オンライン授業となった場

合の PC 貸出など検討課題もある。

- ② 防災点検も法令に基づいて実施している。毎年 6 月に防災訓練を実施。(今年度はコロナ禍により中止となる)
- ③ 教室・実習室等の清掃は十分実施されているが、経年劣化が認められるようになってきた。(熊本地震が原因とみられる漏水があり屋根緊急補修工事を実施した)

(2) 今後の改善方策

- ① 今後リニューアルが必要となってくる。次年度よりリニューアル 3～5 年計画を策定するなど早急に前倒しの対策が求められる。
- ② 機器・備品は学習に支障をきたすことがないように日々の点検を怠らず、年度末の備品チェックとともに定期的なメンテナンスを受けるなど早期に対応する。

6. 学生募集

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	学生募集計画を策定し、適宜実施されているか	4
2	学校案内・募集要項の内容は出願者が必要とする内容が掲載され、かつ内容は適切なものになっているか	4
3	学生募集に対する対応等、体制は整っているか	4
4	オープンキャンパス・体験入学の回数や時期、また実施する内容は参加者（出願者）が学校を把握するに十分なものとなっているか	4
5	業界関係団体（歯科医師会）等と連携して、歯科業界への認知度・志願者向上に向けた連携が取れているか	3
6	出願状況はどうか、また定員充足率は満足できるものであるか	2

(1) 現状と課題

- ① コロナ禍により高校訪問等ほとんどの募集活動が（特に外部活動）できなかった。各種情報の提供をホームページより積極的に発信。ホームページリニューアルの効果が出た。
- ② 学生の受け入れ募集については、毎年度適切に実施されている。
- ③ 当初予定になかった、オンライン進学相談会を継続して実施した。
- ④ オープンキャンパスが一部中止となったが、感染症対策を万全実施することはできた。

(2) 今後の改善方策

- ① ホームページを中心に、IT をさらに活用した募集活動を検討していかなければならない。
- ② コロナ禍で

ある今、オープンキャンパスにおいて 1 年間の感染症対策を具体的に発信し、医療系学校としての特色を打ち出す必要がある。

- ③ 出願者において歯科衛生士科は定員数を確保した。歯科技工士科は未だ下回っているため、

募集活動のさらなる工夫が必要とされる。

- ④ 100%定員確保は必須の命題であるが、最低でも90%は確保できる体制をさらに整える。

7. 財務

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	2

(1) 現状と課題

- ① 毎年度初めに予算を作成し、それに従って実行している。
- ② 学園（学校）監査による監査を適正に実施している。
- ③ 必要経費（広報費・修繕維持費等）の予算確保が急務である。

(2) 今後の改善方策

- ① 改善目標であった情報公開（財務その他）の体制が整ったので、次年度できる限り早期にホームページを通じて情報公開の予定である。

8. 法令等の遵守

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	関係法令（学校教育法・私立学校法）・専修学校設置基準の遵守がなされているか	4
2	個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	4

(1) 現状と課題

- ① 法令等を遵守し、適正な運営が行われている。
- ② 個人情報を含めたデータ管理についてのセキュリティ対策は、現状出来る範囲での万全の態勢で取り組んでいる。

(2) 今後の改善方策

- ① 自己評価の実施、結果公開は問題なく行われているが、改善目標であった学校関係者評価委員会は、次年度ようやく実施の目途が立ち実施予定となった。

9. 社会貢献・地域貢献

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	—
2	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっているか	—

(1) 現状と課題

- ① 本年度より評価項目として設定したが、コロナ禍により全く活動ができなかった。よって今年度評価は実施しない。

(2) 今後の改善方策

- ① 同上

VI 学生アンケート結果（在校生および卒業生）

VI 学生・卒業生保護者対象の学校アンケート集計結果

2019年度に掲げた目標の一つであるペーパーレス化の推進により、webアンケートへ変更して実施しました。結果は、下記の通りです。前期から後期にかけての満足度が上昇している科が多くみられました。

(1) 歯科技工士科1年における学校アンケート (web) 集計結果
回収率は、前期 (10月) 100%、後期 (3月) 100%といずれも高かった。

質問番号	5段階評価 (適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1)	前期	後期	通年
(1)	学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導を行った。	3.45	3.68	3.56
(2)	学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行った。	3.45	3.56	3.56
(3)	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行った。	3.77	3.80	3.80
(4)	教員は、適切な教材 (プリント等の補助教材含む) を用いてポイントを的確に押さえ、目標を明確にした授業を行った。	3.50	3.66	3.66
(5)	教員は就職して即実践に役立つ専門性のある指導 (技術的指導含む) を行った。	3.73	3.76	3.76
(6)	教員は授業への出席や欠席、遅刻に対しての指導を行った。	3.68	3.63	3.63
(7)	教員は居眠りや騒がしいなど、学生の授業態度の指導を行った。	3.50	3.59	3.59
(8)	教員は分からない点 (提出課題含む) は、個別対応などで粘り強く、適切に指導を行った。	3.59	3.76	3.76
(9)	教員は、成績不振者への指導・支援が十分に行われていた。	3.64	3.76	3.76
(10)	教員は、公平かつ正確な成績評価を行った。	3.50	3.68	3.68
(11)	学校 (教員) ・保護者・学生との間で、学校生活 (成績・出席状況含む) の様子が文書・電話等を通じて共有されていた。	3.41	3.56	3.56
(12)	国家資格取得に対する指導体制は整備され、機能していた。	3.64	3.71	3.71
(13)	進路・就職に関して、学生自身が主体的に選択できるように情報の提供・指導が行われていた。	3.64	3.76	3.76
(14)	学校は、奨学金・校納金などの手続き、問い合わせに対して、分かりやすい説明がなされていた。	3.50	3.54	3.54
(15)	学校は、学生への健康管理・防災等に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮していた。	3.55	3.71	3.71
(16)	学校は、事務局・窓口における事務手続きや電話対応など、気持ちの良い対応ができていた。	3.73	3.80	3.80
(17)	学校行事などは、様々な体験ができるように工夫されていた。	3.14	3.37	3.37
(18)	この学校に入学してよかったと思う。	3.36	3.51	3.51
		3.54	3.66	3.65

(2) 歯科技工士科2年における学校アンケート (web) 集計結果
 回収率は、前期 (10月) 100%、後期 (3月) 58.8%であった。卒業後の3月回収分に関しては、評価は高かったが、回収率は低かった。

質問番号	5段階評価 (適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1)	前期	後期	通年
(1)	学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導を行った。	3.64	3.90	3.72
(2)	学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行った。	3.77	3.70	3.75
(3)	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行った。	3.86	4.00	3.91
(4)	教員は、適切な教材 (プリント等の補助教材含む) を用いてポイントを的確に押さえ、目標を明確にした授業を行った。	3.73	3.80	3.75
(5)	教員は就職して即実践に役立つ専門性のある指導 (技術的指導含む) を行った。	3.82	3.80	3.81
(6)	教員は授業への出席や欠席、遅刻に対しての指導を行った。	3.73	3.70	3.72
(7)	教員は居眠りや騒がしいなど、学生の授業態度の指導を行った。	3.68	3.70	3.69
(8)	教員は分からない点 (提出課題含む) は、個別対応などで粘り強く、適切に指導を行った。	3.59	3.80	3.66
(9)	教員は、成績不振者への指導・支援が十分に行われていた。	3.64	3.80	3.69
(10)	教員は、公平かつ正確な成績評価を行った。	3.59	3.60	3.59
(11)	学校 (教員) ・保護者・学生との間で、学校生活 (成績・出席状況含む) の様子が文書・電話等を通じて共有されていた。	3.73	3.60	3.69
(12)	国家資格取得に対する指導体制は整備され、機能していた。	3.55	3.80	3.63
(13)	進路・就職に関して、学生自身が主体的に選択できるように情報の提供・指導が行われていた。	3.68	3.80	3.72
(14)	学校は、奨学金・校納金などの手続き、問い合わせに対して、分かりやすい説明がなされていた。	3.55	3.70	3.59
(15)	学校は、学生への健康管理・防災等に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮していた。	3.73	3.80	3.75
(16)	学校は、事務局・窓口における事務手続きや電話対応など、気持ちの良い対応ができていた。	3.64	3.80	3.69
(17)	学校行事などは、様々な体験ができるように工夫されていた。	3.36	3.60	3.44
(18)	この学校に入学してよかったと思う。	3.64	3.70	3.66
		3.66	3.76	3.69

(3) 歯科衛生士科1年における学校アンケート (web) 集計結果
 回収率は、前期 (10月) 100%、後期 (3月) 100%といずれも高かった。評価に関しては、コロナの影響もあつてか学習面の遅れが指導・サポートへ影響し、全体に比べて低かった。

質問番号	5段階評価 (適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1)	前期	後期	通年
(1)	学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導を行った。	3.41	3.26	3.35
(2)	学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行った。	3.50	3.34	3.44
(3)	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行った。	3.45	3.42	3.44
(4)	教員は、適切な教材 (プリント等の補助教材含む) を用いてポイントを的確に押さえ、目標を明確にした授業を行った。	3.14	3.18	3.16
(5)	教員は就職して即実践に役立つ専門性のある指導 (技術的指導含む) を行った。	3.32	3.16	3.26
(6)	教員は授業への出席や欠席、遅刻に対しての指導を行った。	3.54	3.37	3.47
(7)	教員は居眠りや騒がしいなど、学生の授業態度の指導を行った。	3.52	3.29	3.43
(8)	教員は分からない点 (提出課題含む) は、個別対応などで粘り強く、適切に指導を行った。	2.91	2.95	2.93
(9)	教員は、成績不振者への指導・支援が十分に行われていた。	2.93	2.74	2.85
(10)	教員は、公平かつ正確な成績評価を行った。	3.16	3.32	3.22
(11)	学校 (教員) ・保護者・学生との間で、学校生活 (成績・出席状況含む) の様子が文書・電話等を通じて共有されていた。	2.89	3.13	2.99
(12)	国家資格取得に対する指導体制は整備され、機能していた。	3.13	2.89	3.03
(13)	進路・就職に関して、学生自身が主体的に選択できるように情報の提供・指導が行われていた。	3.18	2.97	3.10
(14)	学校は、奨学金・校納金などの手続き、問い合わせに対して、分かりやすい説明がなされていた。	3.27	3.08	3.19
(15)	学校は、学生への健康管理・防災等に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮していた。	3.30	3.18	3.26
(16)	学校は、事務局・窓口における事務手続きや電話対応など、気持ちの良い対応ができていた。	3.46	3.24	3.37
(17)	学校行事などは、様々な体験ができるように工夫されていた。	2.95	2.66	2.83
(18)	この学校に入学してよかったと思う。	2.93	2.79	2.87
		3.22	3.11	3.18

(4) 歯科衛生士科2年における学校アンケート (web) 集計結果
 回収率は、前期 (10月) 100%、後期 (3月) 100%と高かった。通年を通して高評価なものが多く、学生の満足度が高いことがうかがえる。

質問番号	5段階評価 (適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1)	前期	後期	通年
(1)	学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導を行った。	3.64	3.64	3.64
(2)	学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行った。	3.77	3.76	3.76
(3)	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行った。	3.62	3.73	3.67
(4)	教員は、適切な教材 (プリント等の補助教材含む) を用いてポイントを的確に押さえ、目標を明確にした授業を行った。	3.53	3.44	3.49
(5)	教員は就職して即実践に役立つ専門性のある指導 (技術的指導含む) を行った。	3.62	3.49	3.55
(6)	教員は授業への出席や欠席、遅刻に対しての指導を行った。	3.53	3.38	3.46
(7)	教員は居眠りや騒がしいなど、学生の授業態度の指導を行った。	3.36	3.47	3.41
(8)	教員は分からない点 (提出課題含む) は、個別対応などで粘り強く、適切に指導を行った。	3.17	3.40	3.28
(9)	教員は、成績不振者への指導・支援が十分に行われていた。	3.28	3.51	3.39
(10)	教員は、公平かつ正確な成績評価を行った。	3.36	3.47	3.41
(11)	学校 (教員) ・保護者・学生との間で、学校生活 (成績・出席状況含む) の様子が文書・電話等を通じて共有されていた。	3.30	3.40	3.35
(12)	国家資格取得に対する指導体制は整備され、機能していた。	3.55	3.44	3.50
(13)	進路・就職に関して、学生自身が主体的に選択できるように情報の提供・指導が行われていた。	3.19	3.38	3.28
(14)	学校は、奨学金・校納金などの手続き、問い合わせに対して、分かりやすい説明がなされていた。	3.53	3.56	3.54
(15)	学校は、学生への健康管理・防災等に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮していた。	3.64	3.53	3.59
(16)	学校は、事務局・窓口における事務手続きや電話対応など、気持ちの良い対応ができていた。	3.55	3.67	3.61
(17)	学校行事などは、様々な体験ができるように工夫されていた。	3.34	3.53	3.43
(18)	この学校に入学してよかったと思う。	3.13	3.71	3.41
		3.45	3.53	3.49

(5) 歯科衛生士科3年における学校アンケート（web）集計結果
 回収率は、前期（10月）100%、後期（3月）40.0%であった。評価は全体的に高いものの回収率が低かった。卒業後の回収のため、就職のための準備などが影響している可能性がある。

質問番号	5段階評価（適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1）	前期	後期	通年
(1)	学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導を行った。	3.13	3.70	3.28
(2)	学校は、社会人としてのマナーを含めた人間関係の教育を行った。	3.27	3.80	3.40
(3)	学校は、専門職としての職業観を育成する教育を行った。	3.37	3.60	3.43
(4)	教員は、適切な教材（プリント等の補助教材含む）を用いてポイントを的確に押さえ、目標を明確にした授業を行った。	3.17	3.40	3.23
(5)	教員は就職して即実践に役立つ専門性のある指導（技術的指導含む）を行った。	3.30	3.50	3.35
(6)	教員は授業への出席や欠席、遅刻に対しての指導を行った。	2.67	3.00	2.75
(7)	教員は居眠りや騒がしいなど、学生の授業態度の指導を行った。	2.97	3.00	2.98
(8)	教員は分からない点（提出課題含む）は、個別対応などで粘り強く、適切に指導を行った。	3.07	3.40	3.15
(9)	教員は、成績不振者への指導・支援が十分に行われていた。	2.83	3.30	2.95
(10)	教員は、公平かつ正確な成績評価を行った。	3.03	3.60	3.18
(11)	学校（教員）・保護者・学生との間で、学校生活（成績・出席状況含む）の様子が文書・電話等を通じて共有されていた。	3.17	3.50	3.25
(12)	国家資格取得に対する指導体制は整備され、機能していた。	3.20	3.30	3.23
(13)	進路・就職に関して、学生自身が主体的に選択できるように情報の提供・指導が行われていた。	3.07	3.50	3.18
(14)	学校は、奨学金・校納金などの手続き、問い合わせに対して、分かりやすい説明がなされていた。	3.30	3.50	3.35
(15)	学校は、学生への健康管理・防災等に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮していた。	2.93	3.30	3.03
(16)	学校は、事務局・窓口における事務手続きや電話対応など、気持ちの良い対応ができていた。	3.33	3.60	3.40
(17)	学校行事などは、様々な体験ができるように工夫されていた。	2.90	3.40	3.03
(18)	この学校に入学してよかったと思う。	3.27	3.80	3.40
		3.11	3.46	3.20

(6) 卒業生保護者アンケートの集計結果

回収率：歯科技工士科（DT科）64.7%、歯科衛生士科（DH科）44.0%、全体として52.3%であった。ペーパーレス化を推進しており、学校アンケートの回収および集計はwebアンケートによるものです。

質問番号	5段階評価（適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1）	DT保護者	DH保護者	全体平均
(1)	学校が目指している教育方針や教育理念などある程度理解していた。	3.72	3.27	3.50
(2)	学校は、保護者の要望によく応えていた。	3.75	3.00	3.38
(3)	学校は学生の教育活動（成績・出席状況など）の様子を適時知らせていた。	3.91	3.45	3.68
(4)	学校が保護者に出す文書・事務連絡などは適切であった。	3.75	3.18	3.47
(5)	学生が満足するよう、学校生活の工夫を行っていた。	3.81	3.00	3.41
(6)	教職員は職責感をもって、指導の充実に努力していた。	3.72	3.18	3.45
(7)	教職委は学生・保護者に誠意をもって接していた。	3.69	3.27	3.48
(8)	知識の修得を図るための効果的な学習指導が行われていた。	3.66	3.45	3.56
(9)	就職して即実践（即戦力として）に役立つような技術の指導が行われていた。	3.69	3.55	3.62
(10)	国家資格取得のための指導は適切に行われていた。	3.59	3.36	3.48
(11)	学生の相談に関する体制が整備され、有効に機能していた。	3.69	2.91	3.30
(12)	実社会に出て即対応できるようなマナーや躰などを含めた人間形成の教育が行われていた。	3.63	3.18	3.40
(13)	就職などに対する指導体制は整備され、有効に機能していた。	3.72	3.09	3.40
(14)	学生が主体的に選択できる適切な情報（進路・就職など）の提供が行われていた。	3.59	3.18	3.39
(15)	学校の施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されていた。	3.75	3.36	3.56
(16)	学生への健康管理・防災・防犯に配慮し、学校施設・設備は点検・整備されていた。	3.69	3.27	3.48
(17)	本校在学中の学納金は適切であった。	3.44	3.36	3.40
(18)	この学校に入学させてよかったと思う。	3.66	3.55	3.60
		3.69	3.26	3.47